

山北通信【令和8年5月22日】

こどもたちの思いで、学校をきれいに！！

本校では、校門付近を中心に、お菓子の袋や空のペットボトル等のごみが散見されます。4月14日の山北通信でも、朝から6年生の人たちが運動場にあったゴミを拾ってきてくれたことを紹介しました。

今回は、昼休みを中心に、3週間前くらいから自主的にごみを拾い続けてくれている4年生のこどもたち4人に、校長室でインタビューをしましたので紹介します。

また、学級担任がこのことを終わりの会でこどもたちに伝えたところ、この思いに賛同した4年生のこどもが、放課後に一度帰宅したのち学校に来て、お友達の3年生のこどもと一緒に運動場を含む広い範囲でごみを拾ってくれました。こどもたちのひたむきな姿に感動しながら、福田も協力してごみを拾いました。

【インタビュー（概要）】

福田：ごみを拾い始めてくれたのは、いつからですか。

Aさん：3週間前くらいからです。はじめは普通にごみがあった。家の人から「ごみを拾ったらいいことがあるよ。」と言われていたので、拾い始めました。

B・Cさん：Aさんが学校をきれいにしている姿を見て、いいことをしていると思って一緒にはじめました。

Dさん：3人がゴミを拾っている姿を見て、手伝おうと思いました。



また、インタビューをお願いする前に、こんなメッセージを届けてくれました。

山崎北小学校のみなさんへ

学校に落ちているおかしのごみのりょうがものすごくふえています。
みなさんがつかうところは、学校です。なので、みなさんの心がきもちよくなるように、協力おねがいします！！

おかしのごみは、ふくろに入れてもってかえってください！！

4の3 ゴミひろいかかりより